［例　　示］

（別紙様式１）〔内見〕

（別紙様式２）〔本審査〕

年　　月　　日

論　　文　　目　　録

氏　　名　　山　口　太　郎

論　　文

１．題目（英語の場合は，その和訳を併記すること。）

○○○に関する研究

２．公表の方法及び時期

第何章は次の論文からなる。

著者名（申請者名には下線）：論文のタイトル.　　学術雑誌名（略さない）

巻（号），最初の頁――最後の頁，年（或いは，印刷中，投稿中，投稿予定）

〔例〕：第2章と3章は次の論文からなる。

YAMAGUCHI Tarou, KANBE Ichiro, YAMADA Hanako：Complete development of mosquito phases of Mariah Carey in vitro. The Journal of Science and Technilogy, 38, 6989-6997, 2002

３．冊　数　　１　冊

（提出する学位論文の冊数（例：６冊）を記入するのではなく，提出する学位論文が何冊で構成されているかを記入すること。通常は１冊。）

参考論文

※1.　参考論文がない場合，必ず「参考論文なし」と記入すること

※2.　【予備審査（内見）】参考論文を提出する場合は，指導教員（内見受理教授）の指示に従うこと。

※3.　【本審査】参考論文を提出する場合は，１　題目，２　冊数を同上のスタイルで記入したうえ，学位論文と同数提出すること。（神大図書館等に送付されるので，ホッチキスなどで綴じること。）

※4.　【本審査】神大図書館等には送付する必要がないが，審査委員にのみ送付したい論文がある場合は，論文目録には「参考論文なし」と記入したうえで，審査委員と同数提出すること。（複数の論文がある場合は，各審査委員に配布しやすいように，審査員毎に論文をクリップ等でまとめること）

記入上の注意

①　1枚に収まらない場合は別紙を加えてもよい。複数枚になる場合は左上をホッチキス止めすること。

②　A4の用紙を使用すること。

③　発表論文の著者名が多い場合は申請者名を含む数名を示し，他はetal.とする。